

LINE モバイル

[いつでも電話アプリケーション利用規約（Android 版）](#)

[いつでも電話アプリケーション利用規約（iOS 版）](#)

いつでも電話アプリケーション利用規約（Android版）

第1条 （規約の適用）

1. LINE モバイル株式会社（以下「当社」という）は、LINE モバイルの提供するサービス「いつでも電話」専用のAndroid 向けダイヤルアプリケーション「いつでも電話」（以下「本アプリケーション」という）を提供するにあたり、いつでも電話アプリケーション利用規約（Android 版）（以下「本規約」という）を定めます。
2. 本アプリケーションを利用するすべてのお客様（以下「利用者」という）は、本規約に同意した上で、本アプリケーションを利用してください。本アプリケーションを実際に利用した利用者は、本規約に同意したものとみなされます。
3. LINE モバイルサービスに関する各種条件については、当社が別に定める「[LINE モバイルサービス利用規約](#)」および「[いつでも電話規約](#)」その他これらに付随する各種規約等（以下「規約等」という）が適用されます。

第2条 （規約の変更）

当社は、当社が必要と判断する場合、本アプリケーションの目的の範囲内で、本規約を変更することができます。この場合、当社は、本規約を変更する旨および変更後の本規約の内容ならびにその効力発生日を、当該効力発生日より前に、[LINE モバイル ウェブサイト](#)上の適宜の場所への掲示その他当社が適当と判断する方法により周知します。本規約の変更は、周知された効力発生日からその効力を生じるものとします。

第3条 （本アプリケーションの利用）

1. 利用者は、本規約の定めに従って、自らの責任と負担で本アプリケーションを利用しなければなりません。
2. 本アプリケーションを利用できる対象機種、対象 OS は、当社所定のものに限られます。
3. 当社は、利用者に対し、本アプリケーションの使用を許諾するものであり、本アプリケーションを販売するものではありません。

第4条 （利用料金）

1. 本アプリケーションの利用は無料です。ただし、本アプリケーションのダウンロードおよび本アプリケーションの利用に関するデータ通信料は、利用者の負担となります。
2. LINE モバイルサービスの利用については、規約等において別途定める料金が適用されます。

第5条 （外部委託）

当社は、必要に応じて、本アプリケーションに関するシステム管理業務の全部または一部を外部委託することができます。

第6条 (アドレス帳情報の取扱い)

1. 本アプリケーションは、「いつでも電話」サービスの利便性向上のために、本アプリケーションがインストールされた端末内のアドレス帳にアクセスし、アドレス内の情報（以下「アドレス帳情報」という）を取得します。ただし、アドレス帳へのアクセスには、当該端末におけるアクセス許可設定が必要となります。
2. 本アプリケーションが取得したアドレス帳情報が当社のサーバへ送信されることはありません。また、アドレス帳情報が第三者に対して提供されることはありません。

第7条 (本アプリケーションの機能の変更)

1. 当社は、利用者に対して通知することなく、本アプリケーションに新たな機能を追加し、または既存の機能に変更を加えることができます。
2. 当社は、理由の如何によらず、本アプリケーションの新機能の追加または既存の機能の変更により利用者に生じた損害を補償する責任を負いません。

第8条 (本アプリケーションの提供の中止または終了)

1. 当社は、利用者に対して通知することなく、本アプリケーションの提供をいつでも中止または終了することができます。
2. 当社は、理由の如何によらず、本アプリケーションの提供の中止または終了により利用者に生じた損害を補償する責任を負いません。

第9条 (知的財産)

1. 本アプリケーションに対する一切の知的財産権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む）は、当社または当社が指定する者が保有します。
2. 利用者は、本規約で明示的に認められた場合を除き、本アプリケーションおよび本アプリケーションに含まれる画像や情報に対する知的財産権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む）を利用することはできません。
3. 本アプリケーションは libphonenumber を利用しています。libphonenumber に適用されるライセンスの条件と本規約とで齟齬がある場合、かかるライセンスの条件が優先して適用されます。ライセンスの条件は、[こちら](#)をご覧ください。
4. 本アプリケーションは CircleImageView を利用しています。CircleImageView に適用されるライセンスの条件と本規約とで齟齬がある場合、かかるライセンスの条件が優先して適用されます。ライセンスの条件は、[こちら](#)をご覧ください。

第10条 (禁止事項)

当社は、利用者に対し、本アプリケーションの利用に関する次に掲げる行為を禁止します。

- ① 本アプリケーションの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルその他これらに類する行為

- ② 本アプリケーションを第三者に配布（ウェブサイト、電子掲示板などへのアップロードおよび雑誌、書籍などへの貼付を含むが、これらに限らない）、レンタル、リース、貸与もしくは譲渡し、または本アプリケーションを第三者に使用させる行為
- ③ 当社または第三者の知的財産権を侵害する行為
- ④ 当社または第三者の名誉もしくは信用を毀損し、または不当に差別もしくは誹謗中傷する行為
- ⑤ 当社または第三者に経済的損害を与える行為

第 1 1 条 （非保証）

- 1. 当社および本アプリケーションの開発、運営などに関与する者は、本アプリケーションに事実上または法律上の瑕疵（安全性、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定の目的への適合性、特定の目的に利用することの適法性、セキュリティ等に関する欠陥、エラーやバグ、権利侵害などを含むが、これらに限らない）がないことを明示的にも黙示的にも保証しません。
- 2. 当社は、本アプリケーションを利用したこと、または利用ができないことによって生じたいかなる損害の責任も負いません。
- 3. 当社は、本アプリケーションのバグその他事実上又は法律上の瑕疵を改善し、またはこれらに関してサポートを行う義務を一切負いません。

第 1 2 条 （免責事項）

- 1. 当社は、利用者または利用者の端末について一切関与せず、かつ、本アプリケーションが利用者の端末に与える影響・損害について一切の責任を負いません。
- 2. 当社は、利用者と第三者との間の通信や活動に関与しません。利用者は、第三者との間で争いが発生した場合、自らの責任および費用でこれを解決するものとし、当社はかかる争いに一切の責任を負いません。
- 3. 当社は、予期せぬ要因で本アプリケーションの利用に関して障害が生じた場合でも一切責任を負いません。
- 4. 当社は、利用者の通信内容の監視・チェック・保存の義務を負いません。
- 5. 当社は、規約等に免責事項として定める損害について、一切の責任を負いません。

第 1 3 条 （賠償の制限）

- 1. 当社は、自らの故意または重過失による場合を除き、その原因の如何を問わず、利用者が本アプリケーションの利用に関して被った損害について賠償の責任を負いません。
- 2. 当社は、自らの故意または重過失により利用者に損害が生じた場合、通常生ずべき損害のみ賠償する責任を負い、逸失利益、データの消失、事業機会の喪失または中断その他の特別の事情によって生じた損害を賠償する責任を負いません。また、この場合において、当社が利用者に賠償する損害の額は、利用者から当該損害が発生した月に受領した LINE モバイルサービスの料金の額を上限とします。
- 3. 本アプリケーションの利用に関する契約が消費者契約法（平成 12 年法律第 61 号）の定める消費者契約である場合、前二項の定めは適用されません。この場合、当社は、利用者が本アプリケーションの利用に関して被っ

た損害について賠償の責任を負います。ただし、自らの責めに帰することができない事由によるものであるときは、この限りではありません。

4. 前項の定めにかかわらず、当社の故意または重過失によらずして利用者に損害が生じた場合、当社は、通常生ずべき損害のみ賠償する責任を負い、逸失利益、データの消失、事業機会の喪失または中断その他の特別の事情によって生じた損害を賠償する責任を負いません。また、この場合において、当社が利用者に賠償する損害の額は、利用者から当該損害が発生した月に受領した LINE モバイルサービスの料金の額を上限とします。

第 14 条 （輸出規制）

本アプリケーションは、日本の輸出規制に関する法規およびその他の国の輸出入管理法規の制限を受けるものとします。利用者は、当該法規を無条件に遵守する責任を負うものとします。当社は、利用者に対し、日本国外における使用の結果について一切責任を負いません。

第 15 条 （専属的合意管轄・準拠法）

本アプリケーションの利用に関する当社と利用者との紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。また日本国法を準拠法とします。

（附則）

本規約は、2017 年 6 月 19 日から実施します。

2019 年 3 月 1 日一部改訂

2020 年 3 月 31 日一部改訂

いつでも電話アプリケーション利用規約（iOS版）

第1条 （規約の適用）

1. LINE モバイル株式会社（以下「当社」という）は、LINE モバイルの提供するサービス「いつでも電話」専用の iOS 向けダイヤルアプリケーション「いつでも電話」（以下「本アプリケーション」という）を提供するにあたり、いつでも電話アプリケーション利用規約（iOS版）（以下「本規約」という）を定めます。
2. 本アプリケーションを利用するすべてのお客様（以下「利用者」という）は、本規約に同意した上で、本アプリケーションを利用してください。本アプリケーションを実際に利用した利用者は、本規約に同意したものとみなされます。
3. LINE モバイルサービスに関する各種条件については、当社が別に定める「[LINE モバイルサービス利用規約](#)」および「[いつでも電話規約](#)」その他これらに付随する各種規約等（以下「規約等」という）が適用されます。

第2条 （規約の変更）

当社は、当社が必要と判断する場合、本アプリケーションの目的の範囲内で、本規約を変更することができます。この場合、当社は、本規約を変更する旨および変更後の本規約の内容ならびにその効力発生日を、当該効力発生日より前に、[LINE モバイル ウェブサイト](#)上の適宜の場所への掲示その他当社が適当と判断する方法により周知します。本規約の変更は、周知された効力発生日からその効力を生じるものとします。

第3条 （本アプリケーションの利用）

1. 利用者は、本規約の定めに従って、自らの責任と負担で本アプリケーションを利用しなければなりません。
2. 本アプリケーションを利用できる対象機種、対象 OS は、当社所定のものに限られます。
3. 当社は、利用者に対し、本アプリケーションの使用を許諾するものであり、本アプリケーションを販売するものではありません。

第4条 （利用料金）

1. 本アプリケーションの利用は無料です。ただし、本アプリケーションのダウンロードおよび本アプリケーションの利用に関するデータ通信料は、利用者の負担となります。
2. LINE モバイルサービスの利用については、規約等において別途定める料金が適用されます。

第5条 （外部委託）

当社は、必要に応じて、本アプリケーションに関するシステム管理業務の全部または一部を外部委託することができます。

第6条 (アドレス帳情報の取扱い)

1. 本アプリケーションは、「いつでも電話」サービスの利便性向上のために、本アプリケーションがインストールされた端末内のアドレス帳にアクセスし、アドレス内の情報（以下「アドレス帳情報」という）を取得します。ただし、アドレス帳へのアクセスには、当該端末におけるアクセス許可設定が必要となります。
2. 本アプリケーションが取得したアドレス帳情報が当社のサーバへ送信されることはありません。また、アドレス帳情報が第三者に対して提供されることはありません。

第7条 (本アプリケーションの機能の変更)

1. 当社は、利用者に対して通知することなく、本アプリケーションに新たな機能を追加し、または既存の機能に変更を加えることができます。
2. 当社は、理由の如何によらず、本アプリケーションの新機能の追加または既存の機能の変更により利用者に生じた損害を補償する責任を負いません。

第8条 (本アプリケーションの提供の中止または終了)

1. 当社は、利用者に対して通知することなく、本アプリケーションの提供をいつでも中止または終了することができます。
2. 当社は、理由の如何によらず、本アプリケーションの提供の中止または終了により利用者に生じた損害を補償する責任を負いません。

第9条 (知的財産)

1. 本アプリケーションに対する一切の知的財産権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む）は、当社または当社が指定する者が保有します。
2. 利用者は、本規約で明示的に認められた場合を除き、本アプリケーションおよび本アプリケーションに含まれる画像や情報に対する知的財産権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む）を利用することはできません。

第10条 (禁止事項)

当社は、利用者に対し、本アプリケーションの利用に関する次に掲げる行為を禁止します。

- ① 本アプリケーションの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルその他これらに類する行為
- ② 本アプリケーションを第三者に配布（ウェブサイト、電子掲示板などへのアップロードおよび雑誌、書籍などへの貼付を含むが、これらに限らない）、レンタル、リース、貸与もしくは譲渡し、または本アプリケーションを第三者に使用させる行為
- ③ 当社または第三者の知的財産権を侵害する行為
- ④ 当社または第三者の名誉もしくは信用を毀損し、または不当に差別もしくは誹謗中傷する行為
- ⑤ 当社または第三者に経済的損害を与える行為

第 1 1 条 (非保証)

1. 当社および本アプリケーションの開発、運営などに関与する者は、本アプリケーションに事実上または法律上の瑕疵（安全性、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定の目的への適合性、特定の目的に利用することの適法性、セキュリティ等に関する欠陥、エラーやバグ、権利侵害などを含むが、これらに限らない）がないことを明示的にも黙示的にも保証しません。
2. 当社は、本アプリケーションを利用したこと、または利用ができないことによって生じたいかなる損害の責任も負いません。
3. 当社は、本アプリケーションのバグその他事実上又は法律上の瑕疵を改善し、またはこれらに関してサポートを行う義務を一切負いません。

第 1 2 条 (免責事項)

1. 当社は、利用者または利用者の端末について一切関与せず、かつ、本アプリケーションが利用者の端末に与える影響・損害について一切の責任を負いません。
2. 当社は、利用者と第三者との間の通信や活動に関与しません。利用者は、第三者との間で争いが発生した場合、自らの責任および費用でこれを解決するものとし、当社はかかる争いに一切の責任を負いません。
3. 当社は、予期せぬ要因で本アプリケーションの利用に関して障害が生じた場合でも一切責任を負いません。
4. 当社は、利用者の通信内容の監視・チェック・保存の義務を負いません。
5. 当社は、規約等に免責事項として定める損害について、一切の責任を負いません。

第 1 3 条 (賠償の制限)

1. 当社は、自らの故意または重過失による場合を除き、その原因の如何を問わず、利用者が本アプリケーションの利用に関して被った損害について賠償の責任を負いません。
2. 当社は、自らの故意または重過失により利用者に損害が生じた場合、通常生ずべき損害のみ賠償する責任を負い、逸失利益、データの消失、事業機会の喪失または中断その他の特別の事情によって生じた損害を賠償する責任を負いません。また、この場合において、当社が利用者に賠償する損害の額は、利用者から当該損害が発生した月に受領した LINE モバイルサービスの料金の額を上限とします。
3. 本アプリケーションの利用に関する契約が消費者契約法（平成 12 年法律第 61 号）の定める消費者契約である場合、前二項の定めは適用されません。この場合、当社は、利用者が本アプリケーションの利用に関して被った損害について賠償の責任を負います。ただし、自らの責めに帰することができない事由によるものであるときは、この限りではありません。
4. 前項の定めにかかわらず、当社の故意または重過失によらずして利用者に損害が生じた場合、当社は、通常生ずべき損害のみ賠償する責任を負い、逸失利益、データの消失、事業機会の喪失または中断その他の特別の事情によって生じた損害を賠償する責任を負いません。また、この場合において、当社が利用者に賠償する損害の額は、利用者から当該損害が発生した月に受領した LINE モバイルサービスの料金の額を上限とします。

第 1 4 条 （輸出規制）

本アプリケーションは、日本の輸出規制に関する法規およびその他の国の輸出入管理法規の制限を受けるものとします。利用者は、当該法規を無条件に遵守する責任を負うものとします。当社は、利用者に対し、日本国外における使用の結果について一切責任を負いません。

第 1 5 条 （専属的合意管轄・準拠法）

本アプリケーションの利用に関する当社と利用者との紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。また日本国法を準拠法とします。

（附則）

本規約は、2017年6月19日から実施します。

2019年3月1日一部改訂

2020年3月31日一部改訂